



ユニバーサル都市・福岡

UNIVERSAL FUKUOKA CITY

みんながやさしい、
みんなにやさしい



ユニバーサルデザインとは

年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが自由・快適に利用でき、行動できるような配慮をあらゆる場面で行っていこうとする考えです。以下7つの原則に基づいています。

原則

1 公平性

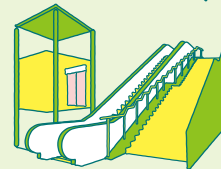
だれでも公平に利用できること
例) 自動ドア



原則

2 自由度

使う上で自由度が高いこと
例) 階段・エスカレーター・エレベーターを選択できる



原則

3 単純性

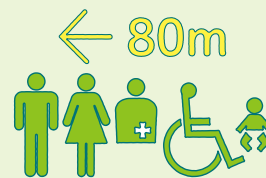
使い方が簡単ですぐわかること
例) 大きくて見やすい自動ドアの開閉ボタン



原則

4 分かりやすさ

必要な情報がすぐに理解できること
例) ピクトグラム



原則

5 安全性

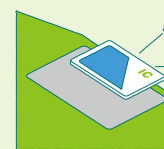
うっかりミスや危険につながらないデザインであること
例) 地下鉄ホームドア



原則

6 体への負担の少なさ

無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
例) 交通系ICカード(はやかけんなど)



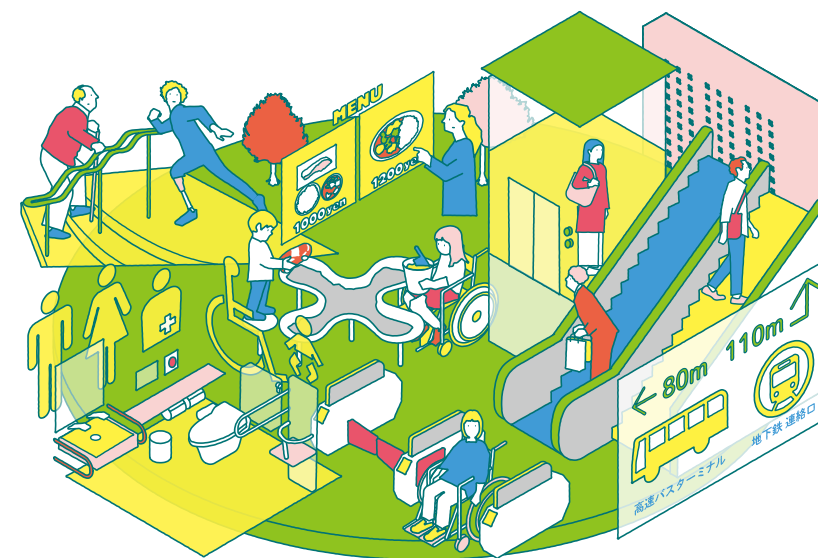
原則

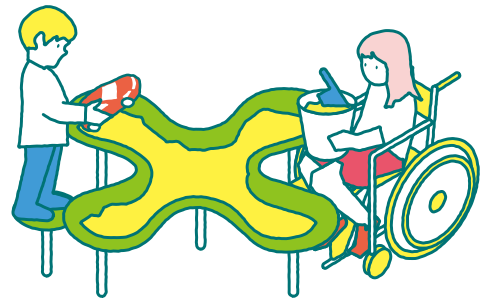
7 スペースの確保

アクセスしやすいスペースの大きさを確保すること
例) 幅の広い自動改札



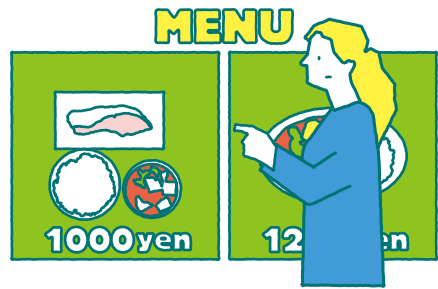
「ユニバーサル都市・福岡」とは、ユニバーサルデザインの理念に基づいた、誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちのことであり、福岡市は、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向けて、様々な取組みを推進しています。





この高さがやさしい!

砂場がテーブル状の形だと、車いすやベビーカーに乗ったままでOK!
みんな一緒に遊べます。
高低差もあると、身長や利用状況にも合わせて選択できます。



この画がやさしい!

メニュー表に写真(絵、イラストなど)を添えることで、料理内容のイメージがしやすく、いろいろな方
利用しやすいように工夫されています。



この選択肢がやさしい!

階段、エスカレーター、エレベーターが1か所にまとまっていると、
利用する人の状況に応じて選べ、また、混雑も分散できます。
「使い分けられる」ということが大事!

えっ!

これも、あれも、

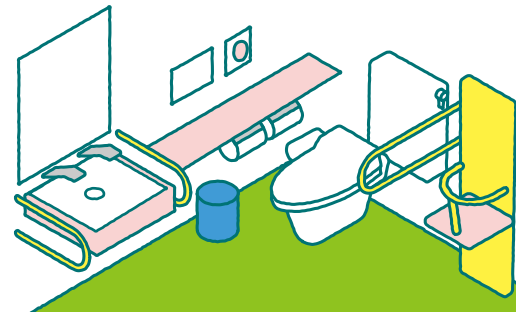


ユニバーサルデザイン?!

気づいてますか? 身近な“ユニバーサルデザイン(UD)”。
UDとは、誰もが使いやすいデザインやサービスのことです。

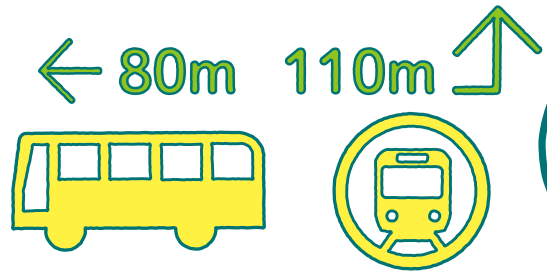


もっと詳しく知りたい方はこちらをチェック!



この機能がやさしい!

車いす利用者、オストメイト、子ども連れ、排泄に介助が必要な方など、
広さだけでなく、それぞれのニーズにあった機能を備え、
それを表示することで、ストレスなく利用できる環境を整えています。



この表現がやさしい!

言葉の壁を越えて世界共通の“理解”を支えてくれる「ピクトグラム」。
さらに、距離をプラスすることで「視認性」に加え、「理解度」を高めます。



この広さがやさしい!

車いす利用者だけでなく、ベビーカーを押す人や
大きな荷物を持った人もみんな“ラクちん!”
広々設計で改札通過もスムーズ!



このくねくねがやさしい!

手すりに水平部分があることで体を支えやすい設計に。
子どもや高齢者、握力が弱い人の昇降への配慮が施されています。